

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	多治見市立笠原中学校		
実 施 期 間	平成25年11月 9日(土)～11月10日(日)		
実 施 概 要	11月9日(土) ① 開会式(生徒会主催) 歓迎の言葉・留学生代表の言葉、自己紹介 ② 各学級での交流<英語プレゼン、多治見紹介、日本の伝統的なあそび等> ③ 学級レクリエーションによる交流 ④ 閉会式(生徒会主催) 感想交流、合唱、お礼の言葉 ⑤ ホームステイ顔合わせ会 11月10日(日) ホームステイ解散式		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> その他 公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	100人	計 120人
	地域関係者	20人	
実 施 状 況	9日は「笠原校区一貫教育の日」として、幼保小中の各園・校が英語、道徳、読書、学力向上の4つの柱に公開を行った。本校はこの日を「国際交流の日」としても位置づけている。外国人留学生19名をゲストとして招き、日頃の英語学習の成果を実践に活かせる場とした。英語力の向上と共に様々な国の文化や習慣を理解し、差別や偏見のない人権感覚を磨くことを目指した。いろいろな国の留学生をあたたく迎え、楽しく1日をすごそうと、学級代表や生徒会執行部が中心となって準備し当日を迎えた。10年間続く大きな行事として地域にも定着し、早朝の開会式から午後の閉会式まで参観者が絶えなかった。		
成果及び課題	(成 果) ・幼稚園・保育園の頃から外国語活動を続けてきた生徒達は、留学生との交流にも臆することなく、積極的にコミュニケーションをとることができた。また、いろいろな国の留学生に日本の生活や文化、多治見や笠原町について紹介する中で、あらためてその良さを実感し、郷土への愛着と誇りをもつことができた。 ・ホームステイを受け入れた保護者や生徒は、ことばや文化の違いを乗り越えて、人間としての交流が図れることを身をもって体験することができた。 (課 題) ・「国際交流の日」を迎えるまでの準備期間が短く、他の行事との関係もあり、ゆとりのない日程になっている。教育課程の中での位置づけや、実施時期の検討が必要になってきた。 ・留学生のホームステイ先を確保することが年々、難しくなっている。		